

令和5年度

**「就職先からの
卒業生に対する評価
(卒業生に関するアンケート)」
集計結果報告書
(令和3年度卒業生対象)**



高松大学



高松短期大学

目 次

1. 実施要項	1
2. 集計結果 経営学部	
(1) 集計結果 概要	2
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	4
3. 集計結果 発達科学部（企業等）	
(1) 集計結果 概要	8
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	9
4. 集計結果 発達科学部（教育・保育等）	
(1) 集計結果 概要	13
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	14
5. 集計結果 大学院経営学研究科	
(1) 集計結果 概要	18
6. 集計結果 保育学科	
(1) 集計結果 概要	19
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	21
7. 集計結果 秘書科	
(1) 集計結果 概要	26
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	28
8. アンケート用紙	
(1) 高松大学卒業生に関するアンケート（企業等）	32
(2) 高松大学発達科学部卒業生に関するアンケート（教育・保育等）	33
(3) 高松短期大学保育学科卒業生に関するアンケート	34
(4) 高松短期大学秘書科卒業生に関するアンケート	35

令和５年度 就職先からの卒業生に対する調査（実施要項）

1. 目的

本学の卒業生を採用して頂いている企業・官公庁・病院・小学校・幼稚園・保育所・認定こども園などで、本学の卒業生が職場でどのように評価されているかを知り、また、本学の教育に対する忌憚のないご意見ご要望をうかがい、本学の教育の改善に役立てる。

2. 対象

令和３年度卒業生の就職先（大学、短大、大学院）

※ 卒業後１年を経過した者に関するアンケート

※ 発達科学部卒業生の就職先は、「企業等」と「教育・保育等」にアンケート用紙を分ける

3. 実施日・回収期日

実施日：令和５年７月１日

回収期日：令和５年７月末まで

4. 実施方法

令和３年度卒業生の就職先に、業種ごとに異なるアンケート用紙を郵送する。

5. アンケート項目

別紙アンケート用紙参照

6. データ集計

学部・学科ごとに集計する。また、記述部分は内容ごとにまとめる。

7. 発行形式等

簡易製本：７部

（大学各学部長、短大各学科長、研究科長、小会議室、キャリア支援課に配架）

学内公表：教職員には小会議室、スケジュールボード（文書管理）にて閲覧できるようにする。

学外公表：公式ホームページにて閲覧できるようにする。

8. 発行時期

令和５年９月３０日

9. 担当

各学部・学科、学生支援部キャリア支援課

令和5年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 経営学部 集計結果の概要（令和3年度卒業生対象）

依頼数 56 に対し、協力数は 32 で回収率は 57.1%（昨年：依頼数 48 に対し、協力数は 27 で回収率は 56.3%）であった。回答に協力いただいた企業の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（6ヵ月以内）についてはⅠ、Ⅱ・Ⅲのとおりである。

Ⅳ 令和4年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

Ⅳ-1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が 82.9%と十分高い評価を得ている。「やや応えていない」「応えていない」という回答はそれぞれ 1 件：3.4%であった。

昨年と比較すると、「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が 69.2%から 82.9%と 10 ポイント以上、上昇している。企業からのコメントについても、比較的良い評価を得られている。この評価に満足せず、企業の人材ニーズや期待に応えることができるよう、より一層キャリア教育に力を入れていく必要がある。

Ⅳ-2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が 75.8%、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」の割合が 13.8%、また、「全体として低い」という回答は 1 件：3.4%であった。

昨年と比較すると、「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合についてはⅣ-1 と同様に 57.7%から 75.8%と 10 ポイント以上、上昇している。企業からのコメントについても、「バイタリティが高い」「熱意を持っている」と評価が高く、本学の卒業生が力を十分に発揮していると考えられる。一方、「言われたことだけを遂行するのではなく、全体像を考えて動けるような教育を求める」などのコメントがみられたことから、学生一人ひとりとより一層深く関わり、キャリア教育のみならず、総合的な能力や意識を向上させることができるよう、キャリア支援課と経営学部とがさらに一体となって教育に取り組んでいく必要がある。

Ⅳ-3. 本学の卒業予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合が 55.2%、「何ともいえない、わからない」の割合が 41.4%、「あまり熱心でない」の割合が 3.4%を占めている。また、「全体として熱心でない」という回答はなかった。

就職支援活動や採用依頼活動に対する熱心さの割合は、57.7%から 55.2%と昨年よりも若干ではあるが下がっている。キャリア支援課による学生指導とサポート、そして、経営学部教員全体でも担当学生への直接的な指導や就職活動セミナーへの参加、また、キャリアカウンセラー利用へのアプローチを積極的に取り組んできたが、この結果から改善が求められるだろう。学生が望む就職先あるいは選択肢を広げることができるよう、経営学部とキャリア支援課が一体となって就職における全般の活動に力を尽くしていく。

Ⅳ-4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」の割合が 86.2%、「採用は個人本位であり、何ともいえない」の割合が 13.8%を占めている。また、「求人・採用をしていく予定はあまりない」、「求人・採用をしていく予定は全くない」という回答はなかった。

今後の本学卒業生の求人・採用に関して、「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」の数値が 88.5%から 86.2%と昨年に比べ若干下がっている。各企業が求めている力に卒業生の就業力が追い付いてきているものの、まだまだ満足いくものではない。本学の特徴を十分に生かし、積極性かつ就業力を備えた学生に育てていけるよう、キャリア支援課と経営学部が一層連携し、一人ひとりに対してさらにきめ細やかな教育を行っていく。

V. 貴社で、ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

「性格・人柄」の回答が一番多く、次に「意欲・熱意」、「コミュニケーション能力」の回答が多く見られた。

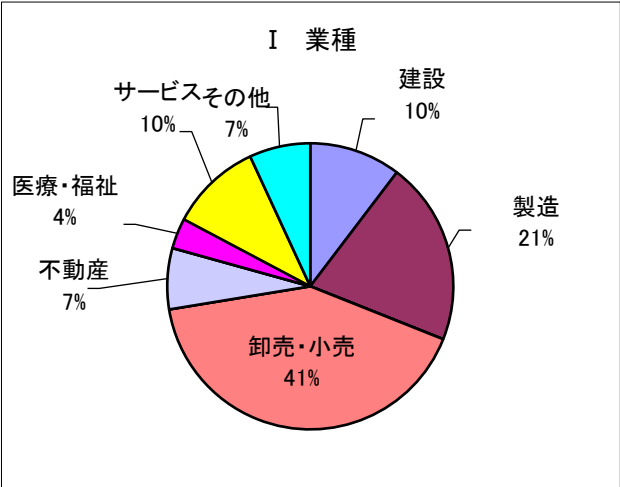
例年と同様、「性格・人柄」「意欲・熱意」「コミュニケーション能力」の回答が多かった。次に「健康・体力」、そして「礼儀・マナー」の回答が多い。これらの能力はすぐに身に付く能力ではないので、日頃の授業だけでなく学生指導、キャリア教育すべてを通して継続的に連動性を持って養成していく必要がある。今後も、キャリア支援課と経営学部を中心に教職員がさらに連携をとって学生指導に努めていきたい。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (経営学部)

調査対象	令和3年度高松大学経営学部卒業生就職先 56社		
実施時期	令和5年7月		
調査方法	郵送による質問紙法		
回収率	依頼数	56社	
	協力数	32社	
回収率		57.1%	

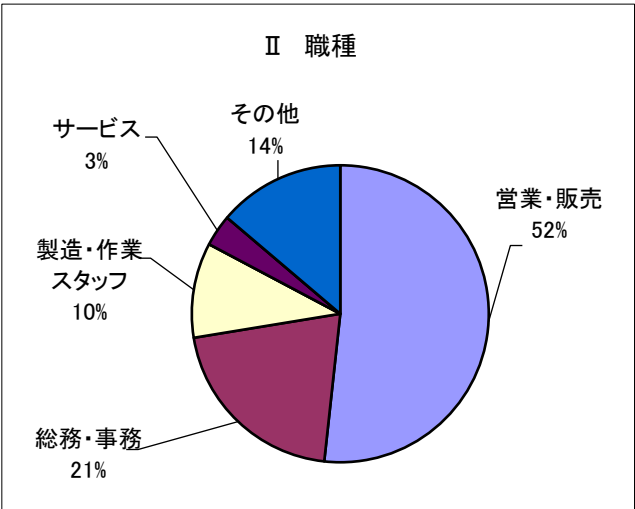
I 貴社の業種についてお答えください。

	業 種	件数
1	建設	3
2	製造	6
3	電気・ガス・水道	0
4	情報・通信	0
5	運輸	0
6	卸売・小売	12
7	金融・保険	0
8	不動産	2
9	飲食・宿泊	0
10	医療・福祉	1
11	サービス	3
12	その他	2



II・III 令和4年4月にご採用いただいた本学卒業生の職種ごとの人数およびそのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

	職 種	件数	人数	内留学生	内退職者(6ヵ月以内)
1	営業・販売	15	15	0	0
2	総務・事務	5	6	0	0
3	製造・作業スタッフ	3	3	0	0
4	通訳・貿易	0	0	0	0
5	サービス	1	1	0	0
6	公務	0	0	0	0
7	その他	4	4	0	0

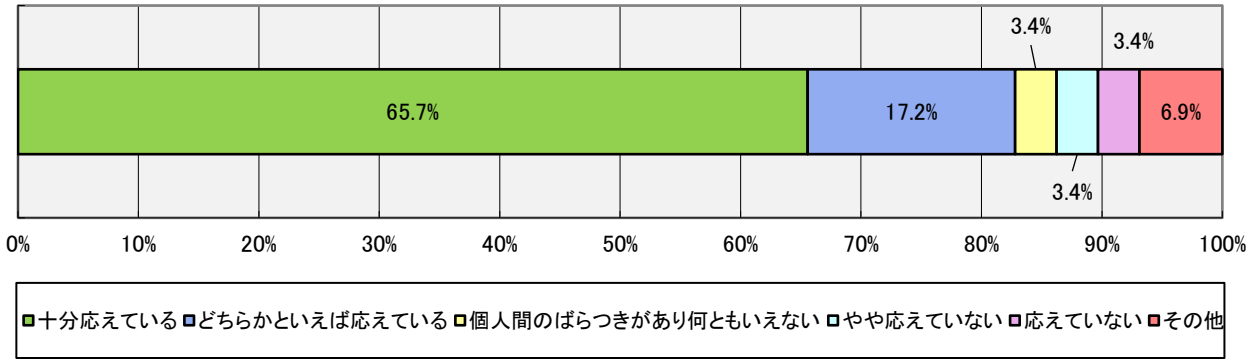


IV 令和4年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待にえていますか。

	項 目	件数
1	十分応えている	19
2	どちらかといえば応えている	5
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	1
4	やや応えていない	1
5	応えていない	1
6	その他	2

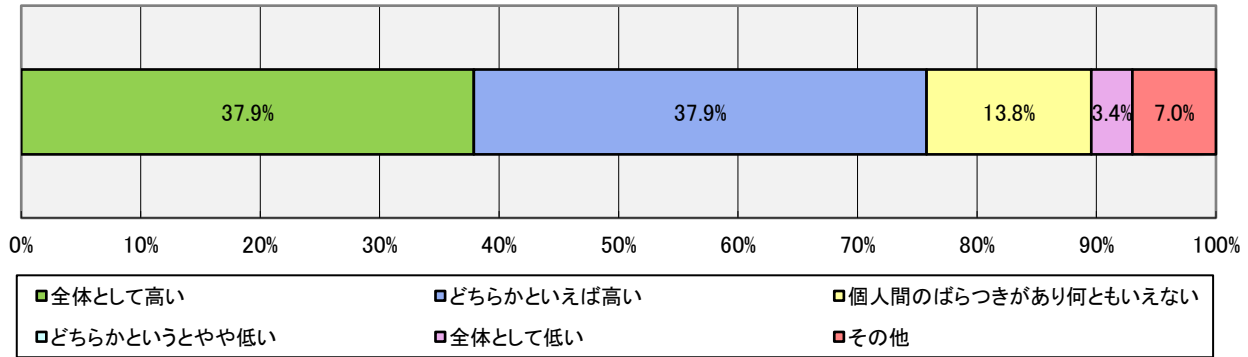
1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待にえていますか。



2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として高い	11
2	どちらかといえば高い	11
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	4
4	どちらかというとやや低い	0
5	全体として低い	1
6	その他	2

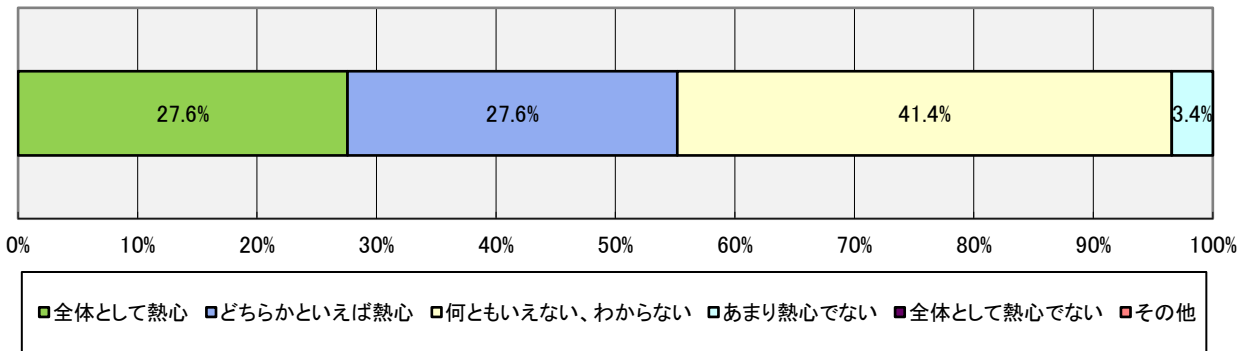
2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。



3. 本学の卒業予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのようにお感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として熱心	8
2	どちらかといえば熱心	8
3	何ともいえない、わからない	12
4	あまり熱心でない	1
5	全体として熱心でない	0
6	その他	0

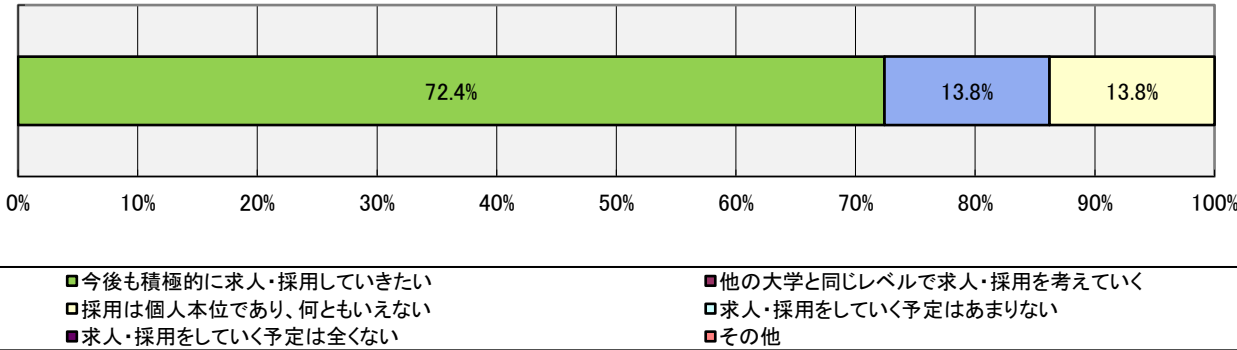
3. 本学の卒業予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのようにお感じでしょうか。



4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

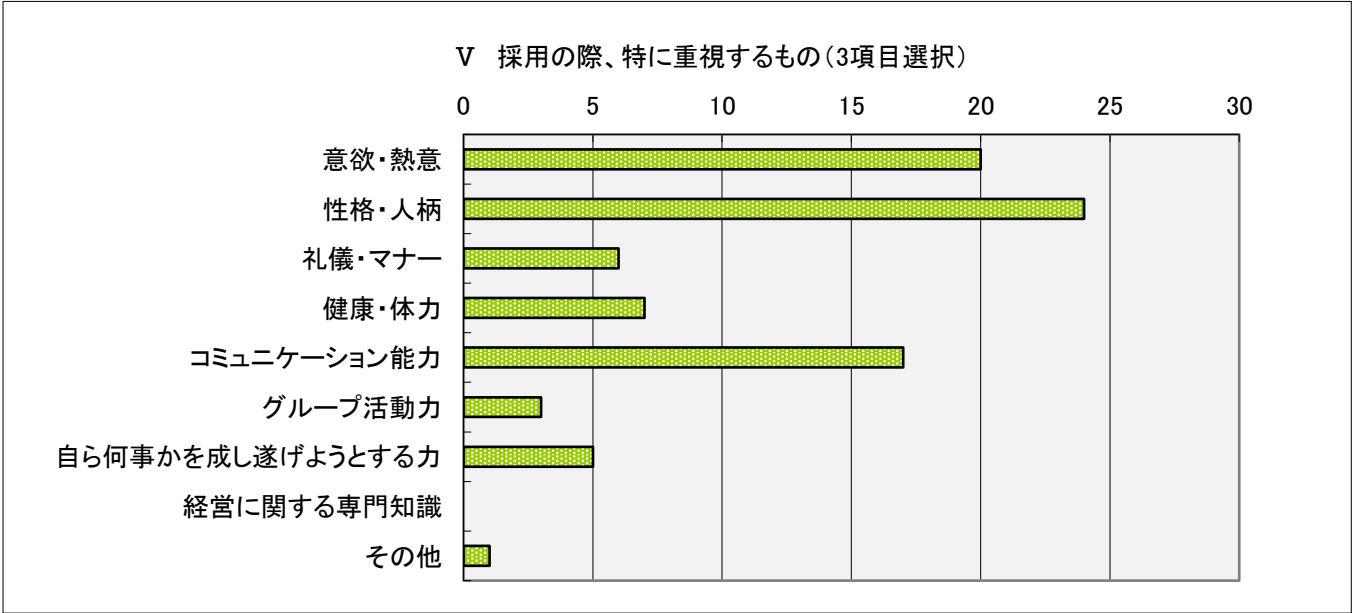
	項 目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	21
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	4
3	採用は個人本位であり、何ともいえない	4
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	0
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	0

4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。



V 貴社で、ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

	項 目	件数
1	意欲・熱意	20
2	性格・人柄	24
3	礼儀・マナー	6
4	健康・体力	7
5	コミュニケーション能力	17
6	グループ活動力	3
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	5
8	経営に関する専門知識	0
9	その他	1



令和5年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 発達科学部（企業等） 集計結果の概要（令和3年度卒業生対象）

依頼数 16 に対し、協力数は 9 で回収率は 56.3%（昨年：依頼数 17 に対し、協力数は 13 で回収率は 76.5%）であった。回答に協力いただいた企業の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（6 ヶ月以内）についてはⅠ、Ⅱ・Ⅲのとおりである。

Ⅳ 令和4年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。

Ⅳ-1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待にえていますか。

「十分応えている」が 87.5%（7 社）と十分高い評価を得ている。また、「やや応えていない」という回答は 3.4%（1 件）であった。

採用 2 年目を迎え、企業等から卒業生に求められるものが、採用当時に比べ厳しくなる中、回答のあった企業の約 9 割（7/8 社）が「十分応えている」の評価をしていただいたことは喜ばしい限りである。

Ⅳ-2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」が 62.5%（5 社）、「どちらかといえば高い」が 12.5%（1 社）で、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」「どちらかというやや低い」がそれぞれ 12.5%（1 社）を占めている。また、「全体として低い」という回答はなかった。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」と回答した企業は合わせて約 75%であり、昨年度（約 6 割）より上昇した。採用時に比べて企業等の評価が厳しくなる中、卒業生の今後の活躍に期待したい。

Ⅳ-3. 本学卒業予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」が 50.0%（4 社）、「何ともいえない、わからない」が 50.0%（4 社）を占めている。また、「あまり熱心でない」、「全体として熱心でない」という回答はなかった。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」と回答した企業は合わせて約 5 割であり、昨年度（約 5 割）とほぼ同じであった。企業の肯定的な評価を高めていくために、ゼミ担当教員－キャリア支援課－企業が効果的に連携して、個々の学生に照準をあてて丁寧に進路実現を図っていく必要がある。

Ⅳ-4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」が 75.0%（6 社）、「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」が 12.5%（1 社）で、「採用は個人本位であり、何ともいえない」が 12.5%（1 社）を占めている。また、「求人・採用をしていく予定はあまりない」、「求人・採用をしていく予定は全くない」という回答はなかった。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」と回答した企業は合わせて約 88%であり、昨年度（約 90%）と概ね同じで有難いことである。キャリア支援課が学部と企業等とのパイプ役として企業等が求める人材育成に努め、地域貢献への寄与を一層確かなものとして継続的に取り組んでいくことが大切である。

Ⅴ 貴社で、ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

「性格・人柄」（8 社）、「意欲・熱意」（5 社）、「コミュニケーション能力」（5 社）といった資質・能力を上げる企業が多く見られた。

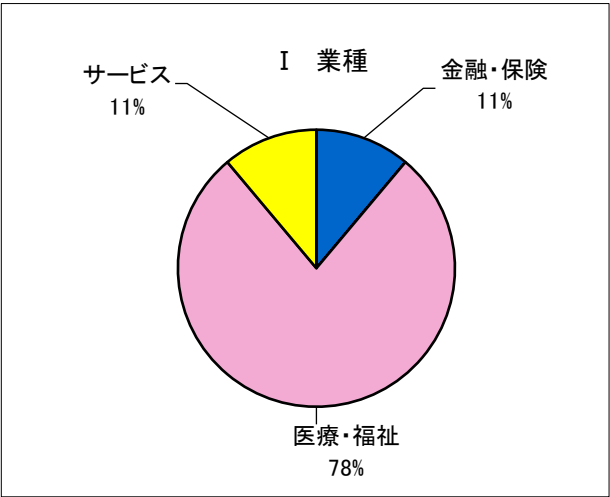
回答の多かった上位 3 項目は教育・保育等においても同じであり、企業が求めている職業人としての資質と言える。大学生活で様々な体験をし、多くの人と交流して知見を広げていくとともに、大学での学びを通してコミュニケーション能力（話す力）を磨き、自己を確立していくことが大切である。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (発達科学部 企業等)

調査対象	令和3年度高松大学発達科学部（企業等）卒業生就職先		16社
実施時期	令和5年7月		
調査方法	郵送による質問紙法		
回収率	依頼数	16社	
	協力数	9社	
	回収率	56.3%	

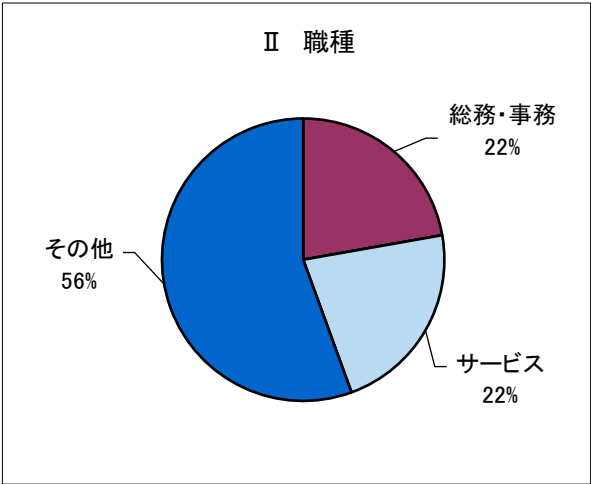
I 貴社の業種についてお答えください。

	業 種	件数
1	建設	0
2	製造	0
3	電気・ガス・水道	0
4	情報・通信	0
5	運輸	0
6	卸売・小売	0
7	金融・保険	1
8	不動産	0
9	飲食・宿泊	0
10	医療・福祉	7
11	サービス	1
12	その他	0



II・III 令和4年4月にご採用いただいた本学卒業生の職種ごとの人数およびそのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

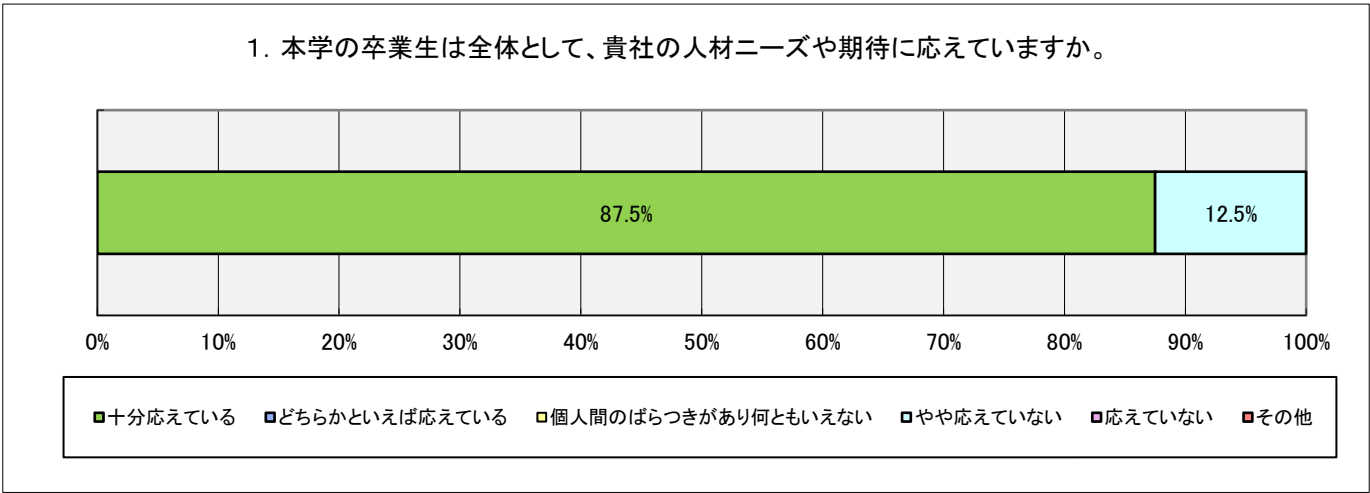
	職 種	件数	人数	内退職者(6ヵ月以内)
1	営業・販売	0	0	0
2	総務・事務	2	2	0
3	製造・作業スタッフ	0	0	0
4	通訳・貿易	0	0	0
5	サービス	2	2	1
6	公務	0	0	0
7	その他	5	5	0



IV 令和4年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

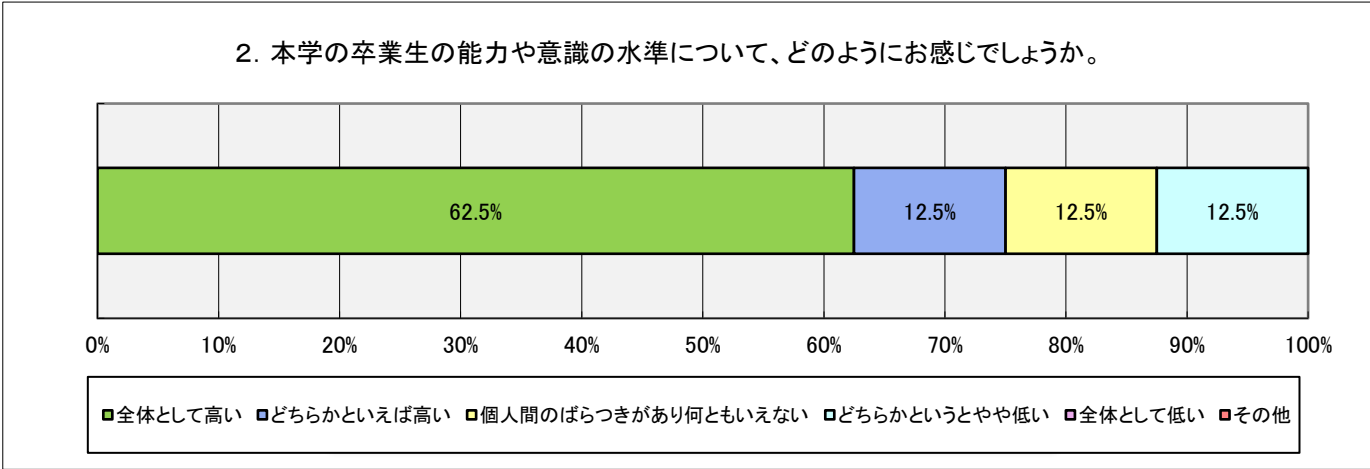
1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項 目	件数
1	十分応えている	7
2	どちらかといえば応えている	0
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	0
4	やや応えていない	1
5	応えていない	0
6	その他	0



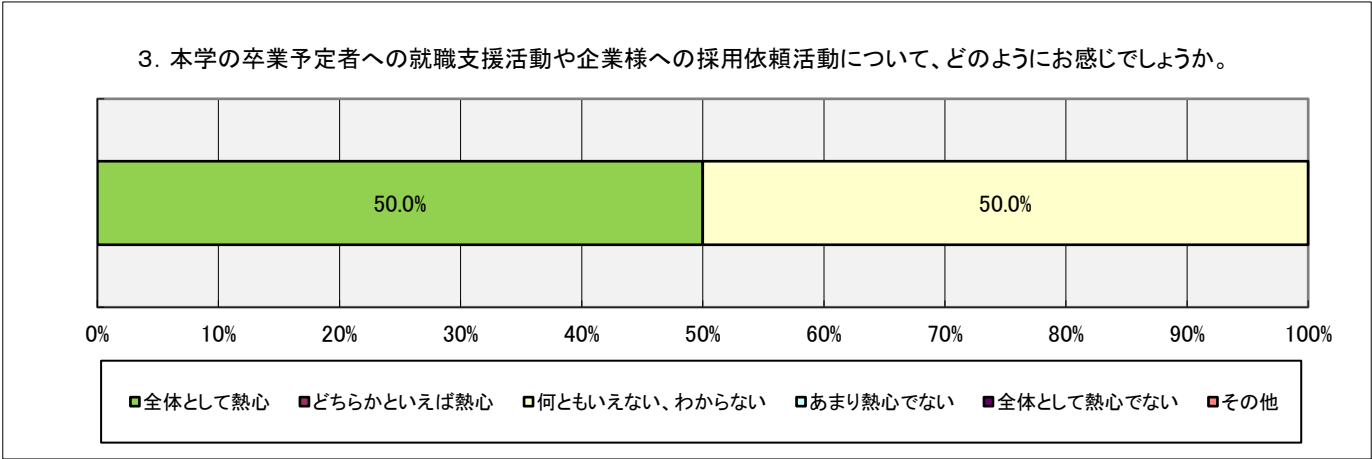
2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのように感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として高い	5
2	どちらかといえば高い	1
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	1
4	どちらかというやや低い	1
5	全体として低い	0
6	その他	0



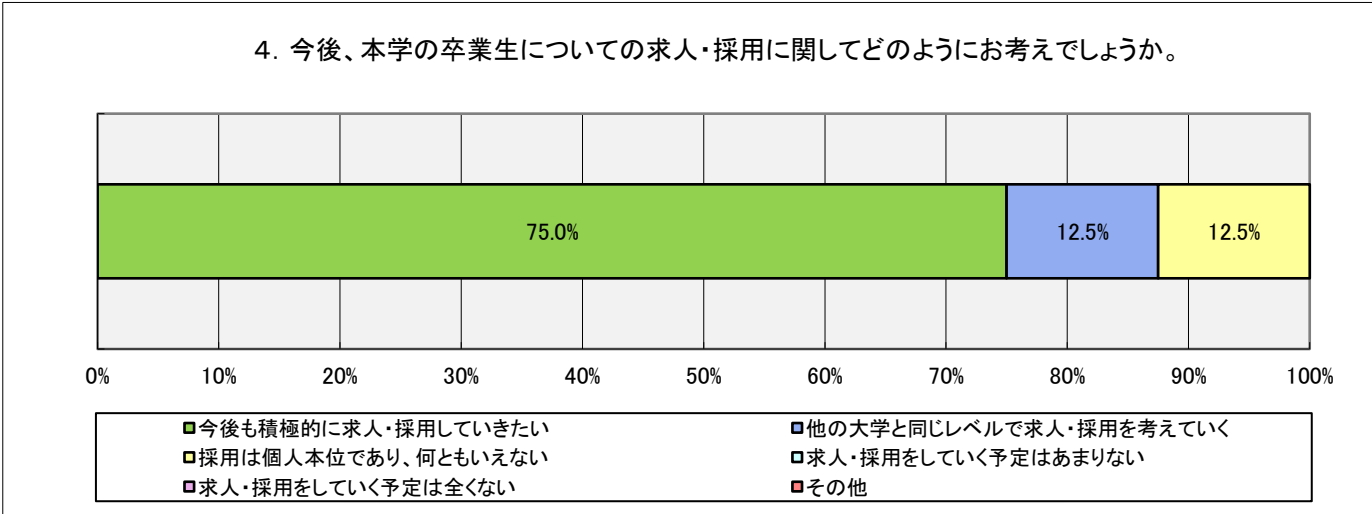
3. 本学の卒業予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのようにお感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として熱心	4
2	どちらかといえば熱心	0
3	何ともいえない、わからない	4
4	あまり熱心でない	0
5	全体として熱心でない	0
6	その他	0



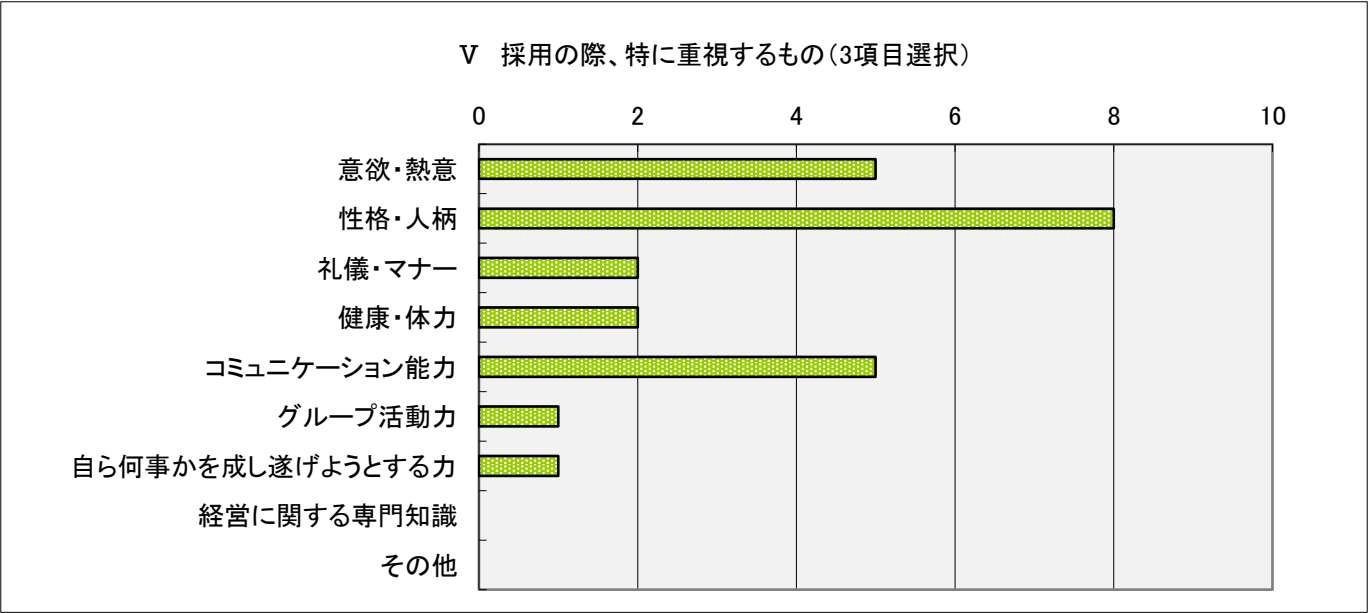
4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

	項 目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	6
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	1
3	採用は個人本位であり、何ともいえない	1
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	0
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	0



V 貴社で、ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

	項 目	件数
1	意欲・熱意	5
2	性格・人柄	8
3	礼儀・マナー	2
4	健康・体力	2
5	コミュニケーション能力	5
6	グループ活動力	1
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	1
8	経営に関する専門知識	0
9	その他	0



令和5年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 発達科学部（教育・保育等） 集計結果の概要（令和3年度卒業生対象）

依頼数 39 に対し、協力数は 29 で回収率は 74.4%（昨年：依頼数 50 に対し、協力数は 41 で回収率は 82.0%）であった。回答に協力いただいた小学校・幼稚園・保育所等の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（6ヵ月以内）についてはⅠ、Ⅱ・Ⅲのとおりである。

Ⅲ 令和4年4月にご採用いただいた発達科学部卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。

Ⅲ-1. 発達科学部卒業生は全体として、貴校（園、所）の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が合わせて 89.7%と十分高い評価を得ている。「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 6.9%を占めている。また、「やや応えていない」「応えていない」という回答はなかった。

昨年度は「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の回答が合わせて約 78%であったが、今年度は合わせて約 90%と大幅に上昇した。経験に伴い求められるものが大きくなっている中、高い評価をしていただいたことは喜ばしいことである。

Ⅲ-2. 発達科学部卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が 69.0%、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 27.6%、また、「どちらかというやや低い」「全体として低い」という回答はなかった。

昨年度は「全体として高い」「どちらかといえば高い」の回答が合わせて約 63%であったが、今年度は合わせて約 69%とやや上昇した。教育現場では幾多の壁や困難に遭遇することになるが、失敗経験から学び、教職に対する強い意志と粘り強さを持ち続け、誰からも信頼される教育者となることができるよう、学生の育成に尽力していきたい。

Ⅲ-3. 本学の貴校（園、所）への採用依頼活動や卒予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合が 59.1%、「何ともいえない、わからない」が 27.3%、「あまり熱心でない」という回答は 9.1%を占めている。また、「全体として熱心でない」という回答はなかった。

昨年度は「全体として高い」「どちらかといえば高い」の回答が合わせて約 48%であったが、今年度は合わせて約 59%と上昇した。肯定的な評価を高めていくために、今後もゼミ担当教員－キャリア支援課－幼稚園・保育所・認定こども園が効果的に連携して、個々の学生に照準をあてて丁寧に進路実現を進めていく必要がある。

Ⅲ-4. 今後、発達科学部の卒業生についての求人・採用に関してどうお考えですか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」、「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」が 63.7%であり、「採用は個人本位であり、何ともいえない」が 27.3%であった。「求人・採用をしていく予定はあまりない」「求人・採用をしていく予定は全くない」という回答はなかった。「その他」は 9.0%で、市での人事のため回答できない旨の記述もあった。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」の回答の割合が昨年度は約 54%であったが、今年度は約 46%と低下した。逆に「採用は個人本位であり、何ともいえない」が昨年度約 12%から今年度は約 27%と大幅に上昇したことが、前述の低下の要因とも考えられる。回答者が「採用は個人本位であり、何ともいえない」をどのように捉えたかが課題であり、この表現を検討したうえで（回答者が分かりやすい表現に修正する等）、次年度は実施してみてもどうか。

Ⅳ 貴校（園、所）で、ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

「性格・人柄」「意欲・熱意」の回答が最も多く、続いて「コミュニケーション能力」の回答が多く見られた。

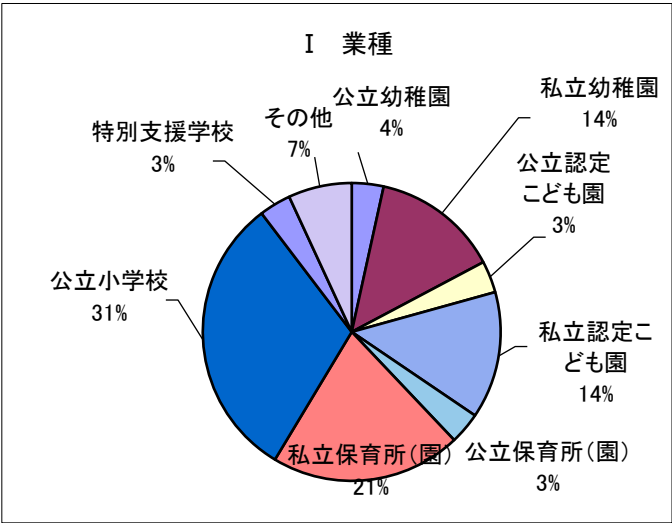
回答の多かった上位3項目は企業等においても同じであり、教育者としての資質である。大学生活で様々な体験をし、多くの人と交流して知見を広げていくとともに、大学での学びを通してコミュニケーション能力（話す力）を磨き、自己を確立していくことが大切である。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (発達科学部 教育・保育等)

調査対象	令和3年度高松大学 発達科学部 (教育・保育) 卒業生就職先 39校 (園・所)		
実施時期	令和5年7月		
調査方法	郵送による質問紙法		
回収率	依頼数	39校 (園・所)	
	協力数	29校 (園・所)	
回収率		74.4%	

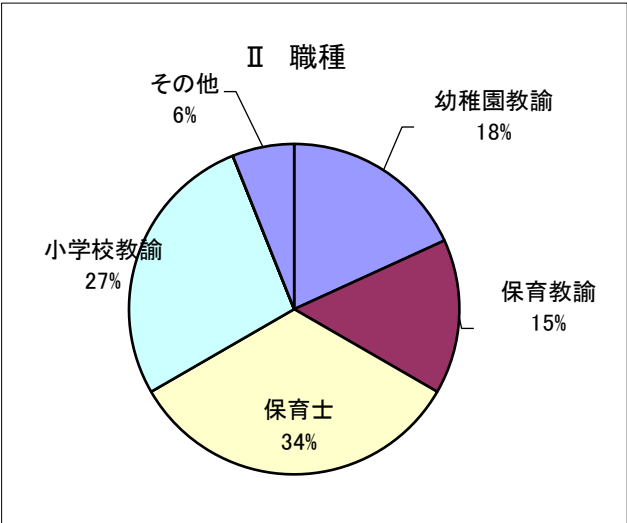
I 貴校 (園・所) の区分についてお答えください。

	業 種	件数
1	公立幼稚園	1
2	私立幼稚園	4
3	公立認定こども園	1
4	私立認定こども園	4
5	公立保育所 (園)	1
6	私立保育所 (園)	6
7	公立小学校	9
8	特別支援学校	1
9	その他	2



II 令和4年4月にご採用いただいた発達科学部卒業生の仕事 (職種) ごと的人数およびそのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

	職 種	件数	人数	内退職者 (6ヵ月以内)
1	幼稚園教諭	5	6	0
2	保育教諭	4	5	0
3	保育士	9	11	0
4	小学校教諭	9	9	0
5	特別支援学校教諭	0	0	0
6	地域子育て支援センター職員	0	0	0
7	学童保育担当	0	0	0
8	病児保育担当	0	0	0
9	その他	2	2	0

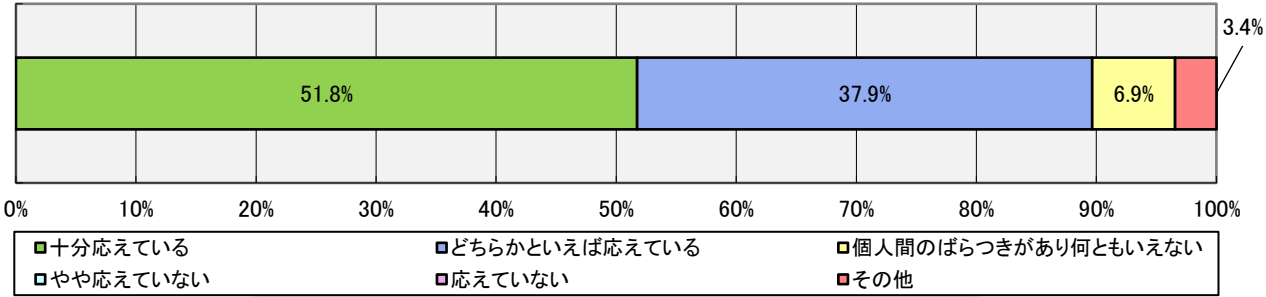


Ⅲ 令和4年4月にご採用いただいた発達科学部卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。

1. 発達科学部卒業生は全体として、貴校(園・所)の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項 目	件数
1	十分応えている	15
2	どちらかといえば応えている	11
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	2
4	やや応えていない	0
5	応えていない	0
6	その他	1

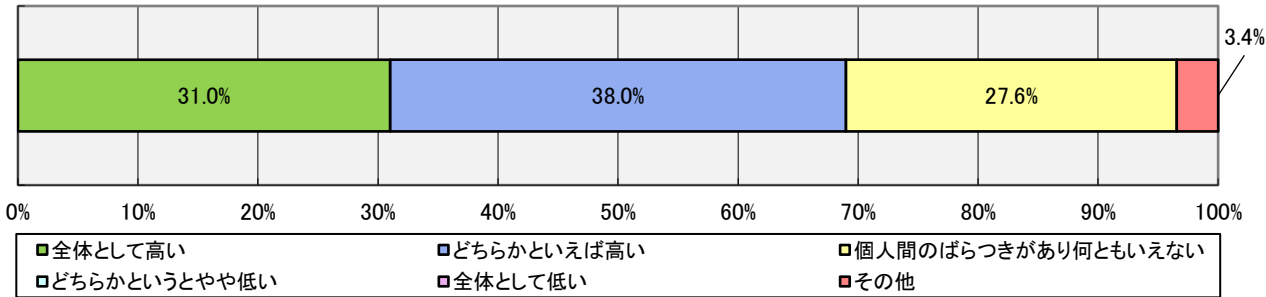
1. 発達科学部卒業生は全体として、貴校(園・所)の人材ニーズや期待に応えていますか。



2. 発達科学部卒業生の能力や意識の水準について、どのように感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として高い	9
2	どちらかといえば高い	11
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	8
4	どちらかというとやや低い	0
5	全体として低い	0
6	その他	1

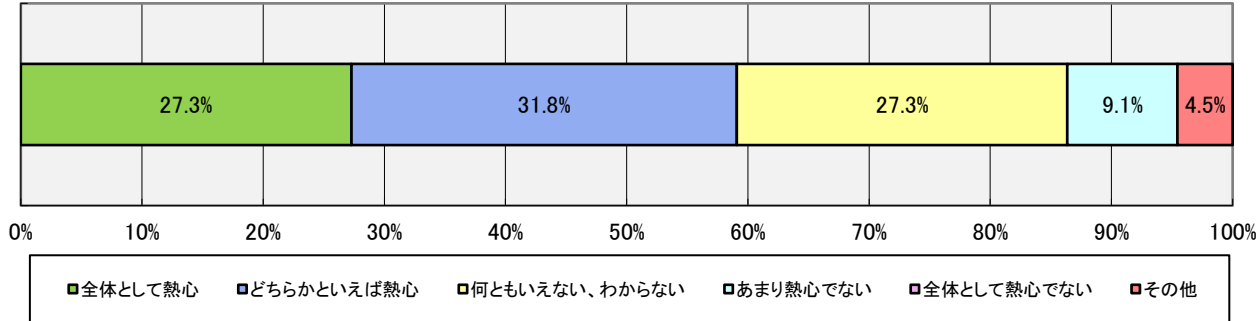
2. 発達科学部卒業生の能力や意識の水準について、どのように感じでしょうか。



3. 本学の貴校(園・所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として熱心	6
2	どちらかといえば熱心	7
3	何ともいえない、わからない	6
4	あまり熱心でない	2
5	全体として熱心でない	0
6	その他	1

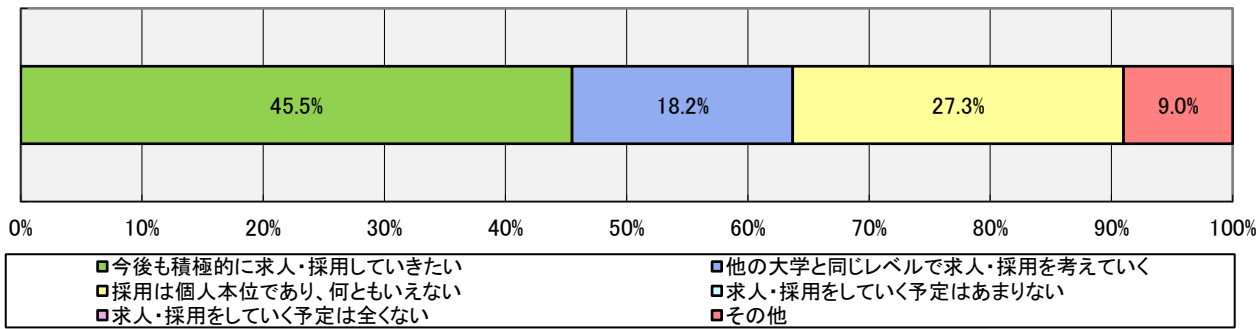
3. 本学の貴校(園・所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。



4. 今後、発達科学部の卒業生についての求人・採用にどうお考えですか。

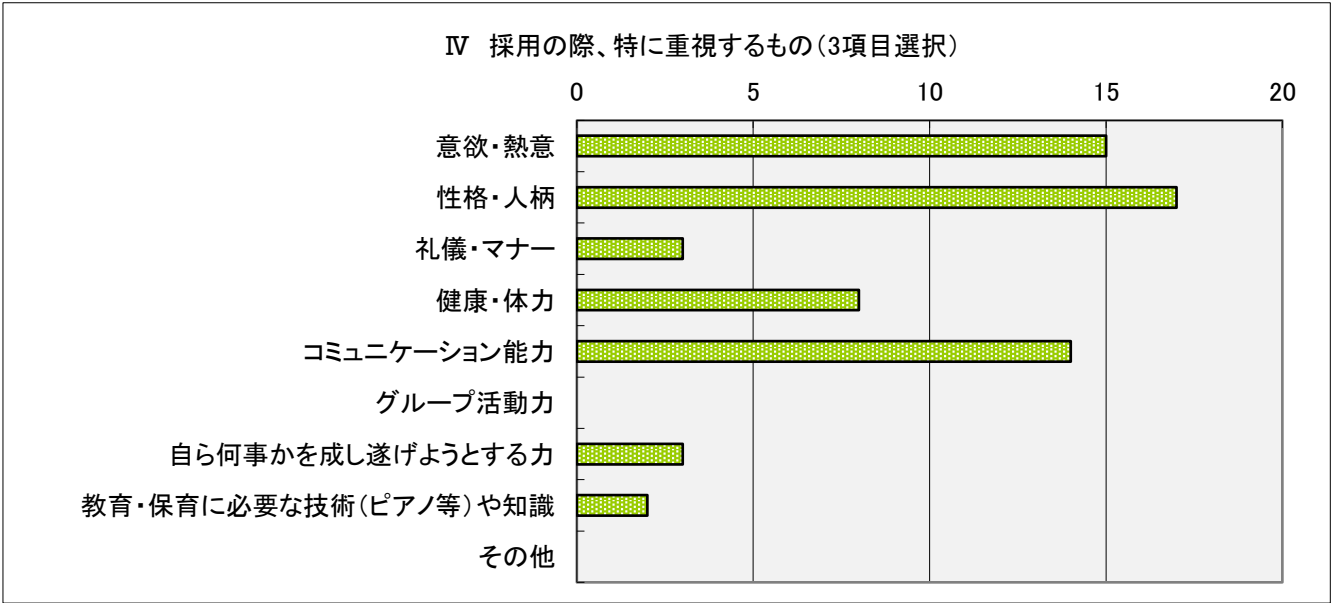
	項 目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	10
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	4
3	採用は個人本位であり、何ともいえない	6
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	0
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	2

4. 今後、発達科学部の卒業生についての求人・採用にどうお考えですか。



IV 貴校(園・所)で、採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

	項 目	件数
1	意欲・熱意	15
2	性格・人柄	17
3	礼儀・マナー	3
4	健康・体力	8
5	コミュニケーション能力	14
6	グループ活動力	0
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	3
8	教育・保育に必要な技術(ピアノ等)や知識	2
9	その他	0

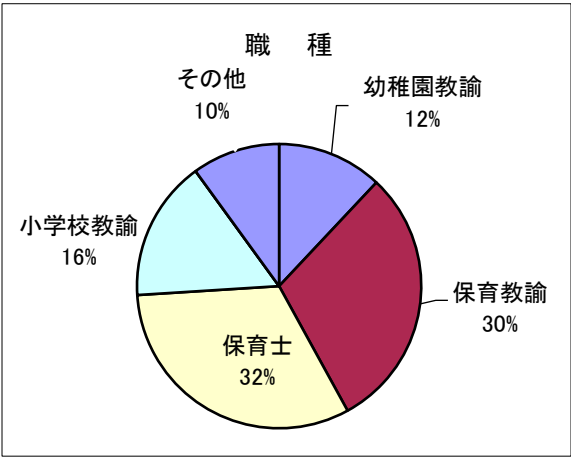


V

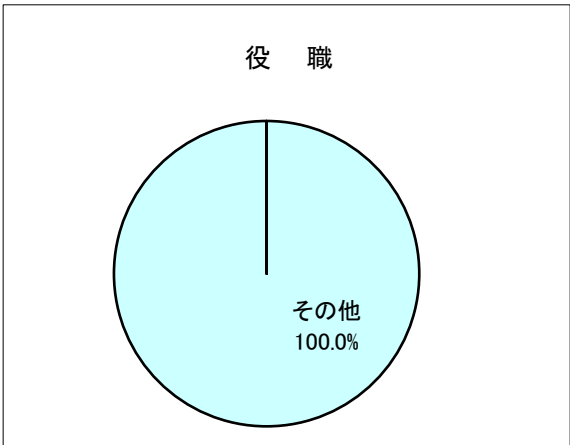
貴校(園・所)では、本学卒業生が何名お世話になっていますか。また、職種、役職者数についてもお答えください。

	職 種	件数	人数
1	幼稚園教諭	4	6
2	保育教諭	4	15
3	保育士	8	16
4	小学校教諭	7	8
5	特別支援学校教諭	0	0
6	その他	2	5

	卒業生数	25	55
--	------	----	----



	役 職	件数	人数
1	園長・所長	0	0
2	副園長・副所長	0	0
3	主任	0	0
4	その他	1	1



**令和５年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート）
大学院経営学研究科 集計結果の概要（令和３年度卒業生対象）**

該当者なし

令和5年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 保育学科 集計結果の概要（令和3年度卒業生対象）

依頼数 35 に対し、協力数は 26 で回収率は 74.3%（昨年：依頼数 41 に対し、協力数は 34 で回収率は 74.5%）であった。回答に協力いただいた幼稚園・保育所等の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（6ヵ月以内）についてはⅠ、Ⅱ・Ⅲのとおりである。

Ⅲ 令和4年4月にご採用いただいた保育学科卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。

Ⅲ-1. 保育学科卒業生は全体として、貴園（所）の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が 70.4%とやや高い評価になっている。「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 3.7%、「やや応えていない」が 25.9%占めている。また、「応えていない」という回答はなかった。

就職当初よりコロナ対応が日常となっており、その中での卒業生の勤務状況についてはつかみにくいところではあるが、7割（前年度より6%減）の卒業生については、概ね就職先の人材ニーズや期待に応えてくれているようである。「十分応えている」に○を付けていただいた卒業生の中には、在学中から意欲的に授業に臨む本人の資質とともに、保育補助ボランティアやアルバイト、実習等で将来を見据えた施設との良好な関係を構築することができた者も見られ、就職するまでのプロセスも大きく影響しているように思われる。

しかしながら、「やや応えていない」が 25.9%を占め、前年度の 3.1%からの大幅増となっていることが、気になるところである。何名かの早期離職が理由の原因とも思われるが、学生の全体的な能力・意欲の低下が懸念される。在学中から課題を感じていた学生も多く、即戦力としては及ばずとも、保育者としてのあるべき姿を理解し誠実に取り組めるよう、養成に努めていかなければならぬことを強く意識するものである。

Ⅲ-2. 保育学科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」の割合が 7.4%、「どちらかといえば高い」の割合が 29.6%、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 51.9%を占めている。また、「全体として低い」という回答は 3.7%（1件）であった。

「全体として高い」、「どちらかといえば高い」を合わせて 37%と前年度の 50.1%からの大幅な減であり、大変厳しい評価となっている。特に、公立幼稚園就職者に対して「全体として低い」という明確な評価も 1件あった。「熱意がありまじめに取り組む姿が見られるが、臨機応変に、柔軟に、応用して対応する力ができるだけ備わって欲しい」という趣旨のコメントもあった。保育者としての資質に課題を感じる場面が多いと言わざるを得ないのであろう。自ら考え、柔軟に行動できる人材の育成が求められている。

Ⅲ-3. 本学の貴園（所）への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合が 48.2%であった。「何ともいえない、わからない」が 44.4%を占めている。また、「全体として熱心でない」という回答はなかった。

この数年間、コロナ感染症の発生状況等によりそれ以前のような採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動が十分に行われていなかったのは確かであるが、前年度「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合 61.8%からの大幅な減である。就職支援活動がより消極的になっていたことの表れである。令和5年に入り、ようやく社会活動が活発になってきており、年間を通しての就職への意識付けを行うとともに、保育補助ボランティア・アルバイトや施設見学も含め、就職希望施設との事前のつながりがもてる機会について積極的に働きかけていきたい。

Ⅲ-4. 今後、保育学科の卒業生についての求人・採用に関してどうお考えですか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」の割合が 57.7%、「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」を合わせると 76.9%の割合であった。「採用は個人本位であり、何ともいえない」は 7.7%、「その他」は 15.4%で、市での人事のため回答できない旨の記述もあった。

今後の求人・採用に対して前向きな回答が得られて大変有難いが、「今後も積極的に求人・採用していきたい」の割合が、前年度 67.6%からの 9.9%減となっている。「その他」の 15.4%（前年よりも 12.5%増）に引きずられたと思われる。卒業生のさらなる活躍を期待するとともに、引き続き保育補助ボランティアやアルバイト、実習等で将来を見据えた施設との良好な関係を構築できるよう保育学科での指導を充実させていきたい。

Ⅳ 貴園（所）で、ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

「意欲・熱意」、「性格・人柄」の回答が一番多く、次いで、「コミュニケーション能力」が重視されている。

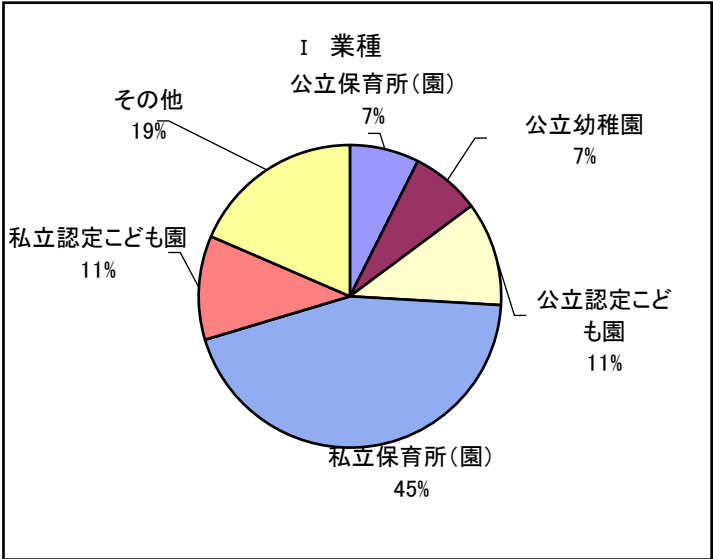
自由記述欄にも、「スキルよりも人柄を大切にしています」や「相手を尊重するためにも考え方を柔軟に、想像力を働かせ、コミュニケーションを取ってもらいたい」という記述があったように、前年同様に保育の専門的知識や技能が上位には現れず、上記3本柱のような結果になった。保育者においても職業人としての基本が重視されていることの表れである。したがって、今後も学生の人間性を涵養していくことに努めるとともに、本学が重視する「対話に基づく人間教育」を推進していきたい。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (保育学科)

調査対象	令和3年度高松短期大学保育学科卒業生就職先		35園(所)
実施時期	令和5年7月		
調査方法	郵送による質問紙法		
回収率	依頼数	35園(所)	
	協力数	26園(所)	
回収率		74.3%	

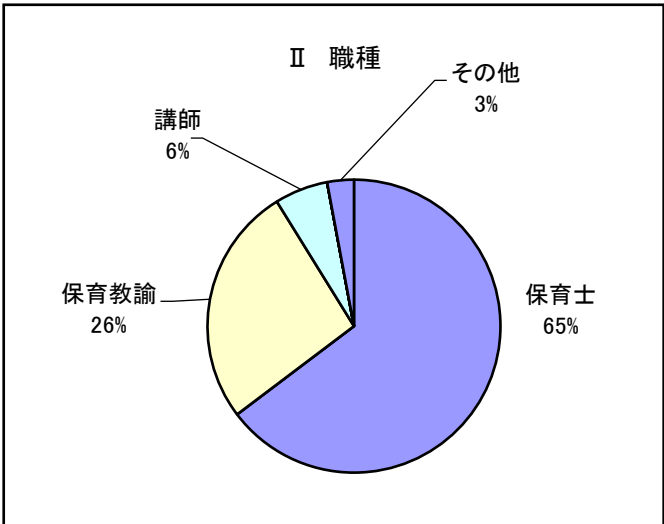
I 貴園(所)の業種についてお答えください。

	業 種	件数
1	公立保育所(園)	2
2	公立幼稚園	2
3	公立認定こども園	3
4	私立保育所(園)	12
5	私立幼稚園	0
6	私立認定こども園	3
7	その他	5



II 令和4年4月にご採用いただいた保育学科卒業生の仕事(職種)ごとの人数およびそのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

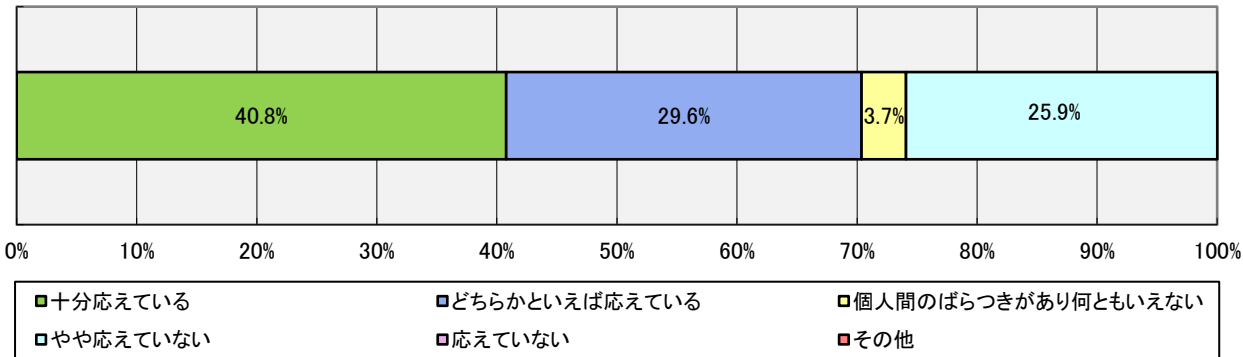
	職 種	園(所)数	人数	内退職者(6ヵ月以内)
1	保育士	18	22	1
2	教諭	0	0	0
3	保育教諭	6	9	0
4	講師	2	2	0
5	臨時職員	0	0	0
6	預かり保育	0	0	0
7	地域子育て支援センター職員	0	0	0
8	学童保育担当者	0	0	0
9	病児保育担当者	0	0	0
10	その他	1	1	0



Ⅲ 令和4年4月にご採用いただいた保育学科卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。
1. 保育学科卒業生は全体として、貴園(所)の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項 目	件数
1	十分応えている	11
2	どちらかといえば応えている	8
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	1
4	やや応えていない	7
5	応えていない	0
6	その他	0

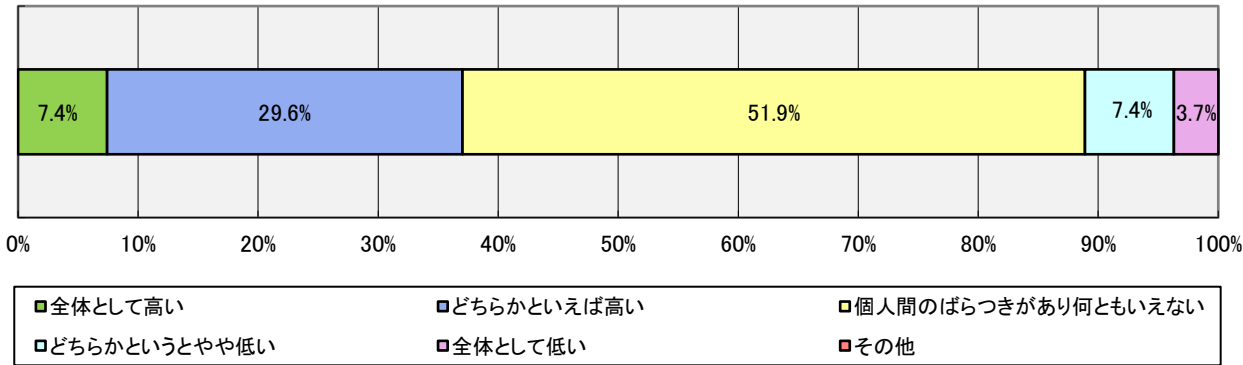
1. 保育学科卒業生は全体として、貴園(所)の人材ニーズや期待に応えていますか。



2. 保育学科卒業生の能力や意識の水準について、どのように感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として高い	2
2	どちらかといえば高い	8
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	14
4	どちらかというやや低い	2
5	全体として低い	1
6	その他	0

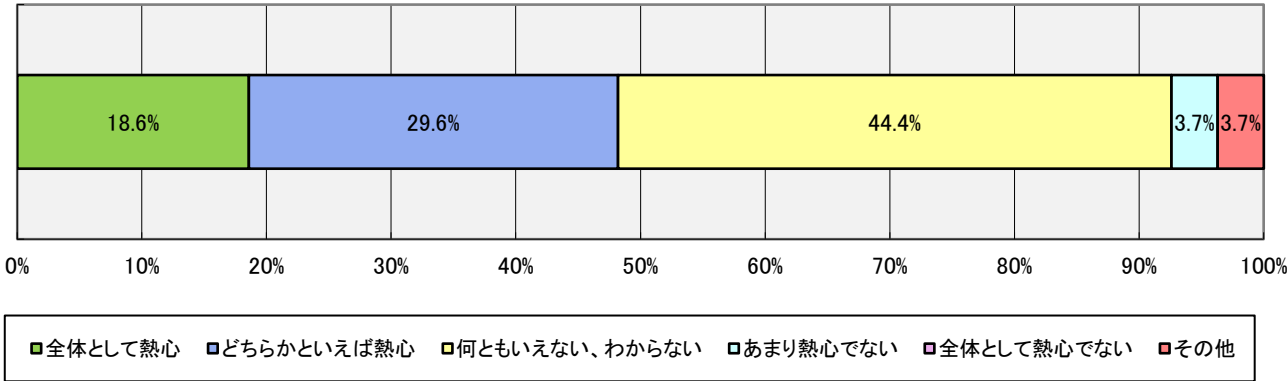
2. 保育学科卒業生の能力や意識の水準について、どのように感じでしょうか。



3. 本学の貴園(所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのように感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として熱心	5
2	どちらかといえば熱心	8
3	何ともいえない、わからない	12
4	あまり熱心でない	1
5	全体として熱心でない	0
6	その他	1

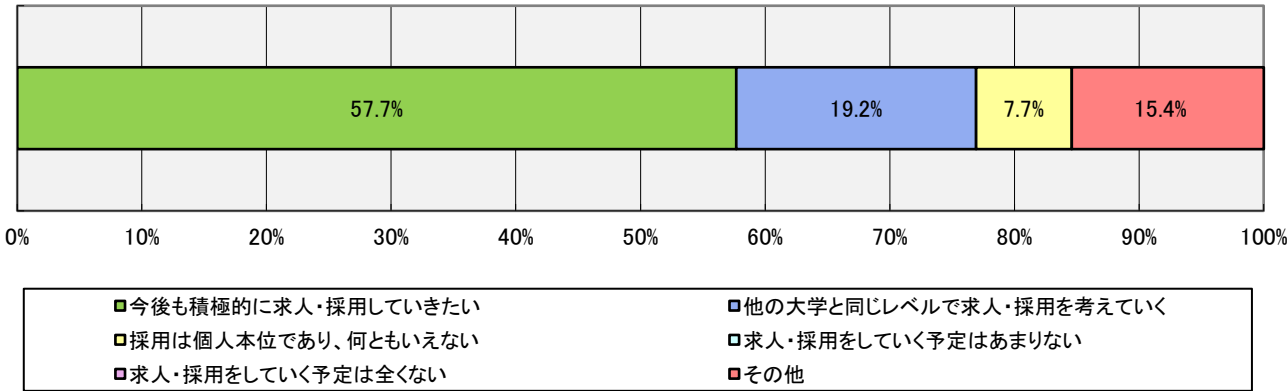
3. 本学の貴園(所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのように感じでしょうか。



4. 今後、保育学科の卒業生についての求人・採用にどうお考えですか。

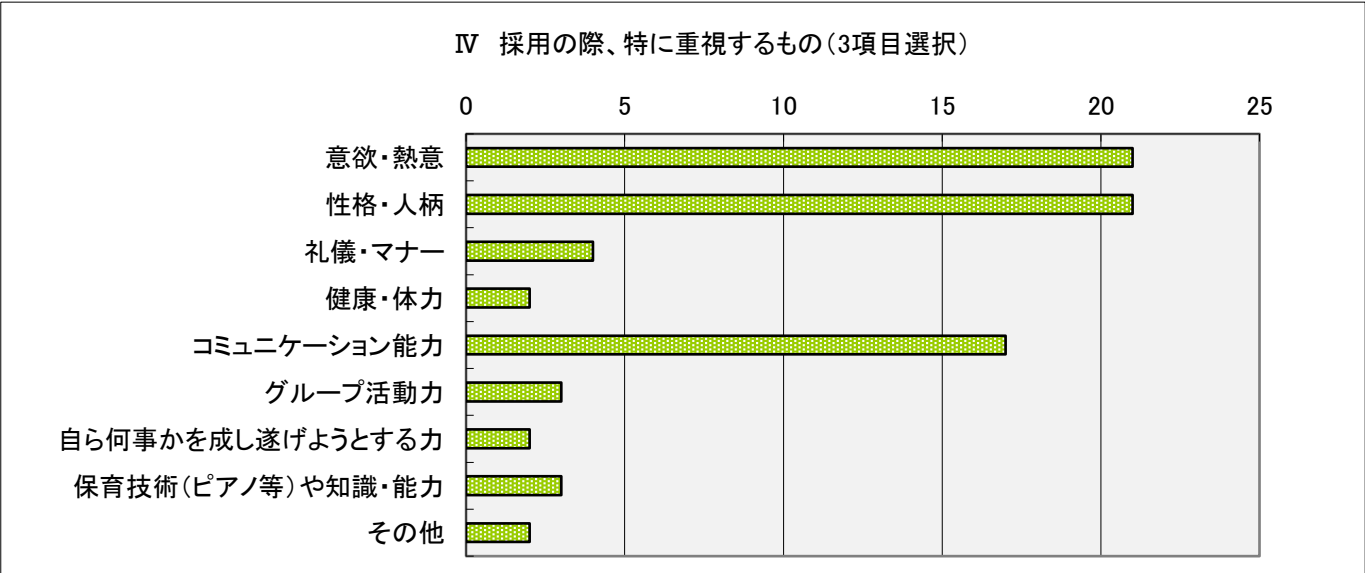
	項 目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	15
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	5
3	採用は個人本位であり、何ともいえない	2
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	0
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	4

4. 今後、保育学科の卒業生についての求人・採用にどうお考えですか。



IV 貴園(所)で、ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

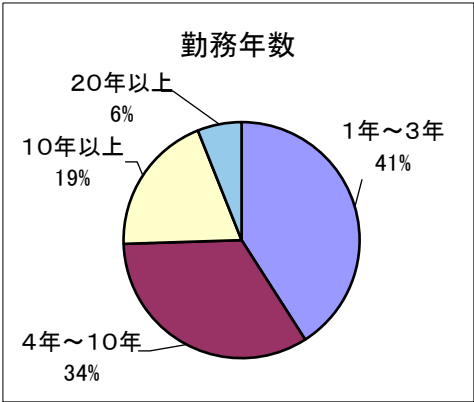
	項 目	件数
1	意欲・熱意	21
2	性格・人柄	21
3	礼儀・マナー	4
4	健康・体力	2
5	コミュニケーション能力	17
6	グループ活動力	3
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	2
8	保育技術(ピアノ等)や知識・能力	3
9	その他	2



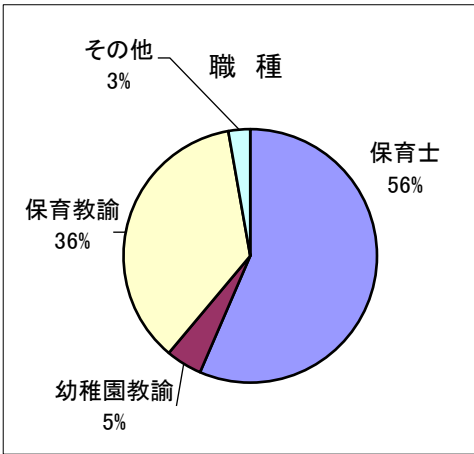
V 貴園(所)では、本学卒業生が何名お世話になっていますか。また、そのうち勤務年数、職種、役職者数についてお答えください。

	項 目	園(所)数	人数
	卒業生数	25	153

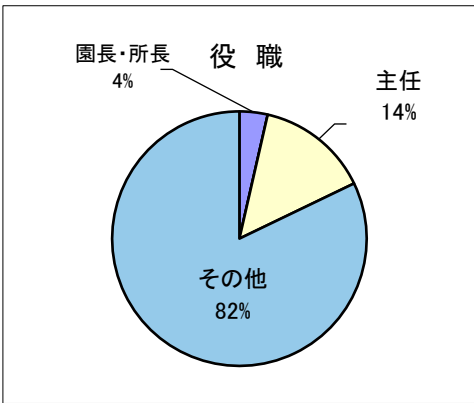
	勤務年数	園(所)数	人数
1	1年～3年	22	61
2	4年～10年	15	50
3	10年以上	11	29
4	20年以上	7	9



	職 種	園(所)数	人数
1	保育士	13	61
2	幼稚園教諭	3	5
3	保育教諭	5	39
4	その他	3	3



	役 職	園(所)数	人数
1	園長・所長	1	1
2	副園長・副所長	0	0
3	主任	1	4
4	その他	7	23



令和5年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 秘書科 集計結果の概要（令和3年度卒業生対象）

依頼数 67 に対し、協力数は 38 で回収率は 56.7%（昨年：依頼数 45 に対し、協力数は 30 で回収率は 66.7%）であった。回答に協力いただいた企業・病院の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（6ヵ月以内）についてはⅠ、Ⅱ・Ⅲのとおりである。

Ⅲ 令和4年4月にご採用いただいた秘書科卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

Ⅲ-1. 秘書科卒業生は全体として、貴社・貴院の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が 89.5%と十分高い評価になっている。また、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」の割合が 7.9%、「応えていない」は 2.6%（1件：退職者）であった。

上記の結果から、多くの企業・病院で、秘書科の教育がかなり活かされていると考えられる。特に、マナー・接遇、パソコン能力等のプラス評価の意見もみられる。また、一部の学生で見られる否定的な評価のコメントは、唯一の意見として「パソコン能力の不足」等の記述があったが、熱意とやる気でカバーしているとのことであった。

Ⅲ-2. 秘書科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が 65.9%とやや低い評価になっているが、学生の個人差があり、今回の数値は特に問題がないと考えている。「個人間のばらつきがあり何ともいえない」の割合が 28.9%、「どちらかというともやや低い」の回答は 2.6%（1件：退職者）で、「全体として低い」という回答はなかった。

上記の結果から、秘書科の評価は個人差があり難しいと考えられる。医療機関では実習と就職を連携しているためコメントには「生徒さんの動向など聞いてくださる点やしっかり勉学に集中できる環境を作っていただいている点」等の記述があった。

設問Ⅲ-1で否定的な評価になっていた学生が、そのまま設問Ⅲ-2でも否定的な評価となっている。その対象学生はすでに退職していることもあり、そのような評価となっていると考える。

Ⅲ-3. 本学の企業等への求人・卒業予定者紹介などの就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合は 63.2%とやや低い評価を得ている。「何ともいえない、わからない」の割合が 31.6%、「あまり熱心でない」の回答は 2.6%（1件）で、「全体として熱心でない」という回答はなかった。

上記の結果から、ここ数年高い評価が続いているのはキャリア支援課の努力や、担当教員が病院・企業訪問を続けていただいた結果であると考えられる。なお、否定的な評価となっているのは、設問Ⅲ-1とⅢ-2で否定的な評価になっている学生が、そのまま設問Ⅲ-3でも否定的な評価となっている。

Ⅲ-4. 今後、秘書科の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」の割合が 76.4%、「採用は個人本位であり、何ともいえない」の割合が 15.8%を占めている。

また、「求人・採用をしていく予定はあまりない」という回答は 2.5%（2件）であった。

上記の結果から、「今後も積極的に求人・採用していきたい」と考えていただいている企業・病院の割合（76.4%）が一番多いのはとても良いことであり、「採用は個人本位であり、何ともいえない」が 15.8%となりある程度の割合を占めるのは当然のことと考える。

「接遇・マナー、情報、プレゼン」等を含め秘書科の教育を身に付けて就職させることが、今後本学と企業・医療機関との就職連携につながっていく一番の方法だと考えられる。

Ⅳ ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

「性格・人柄」「意欲・熱意」、の回答が一番多く、次いで「コミュニケーション能力」が重視されている。

上記3点の項目は、順番が入れ替わることはあるが、毎年挙げられている事であり、秘書科の最

重要教育課題として取り組んでいる事でもある。今後も上記3点を基本として、教育によりそれらの能力に秀でた人材を社会に送りだせるように努める。

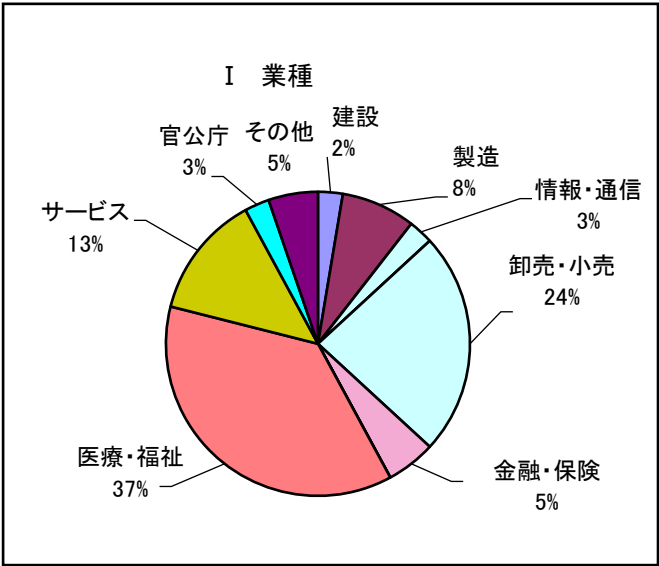
なお、4番目5番目挙げられている項目は「礼儀・マナー」「接遇」であり、秘書科教育の基本として、今後もしっかり指導していく必要がある。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (秘書科)

調査対象	令和3年度高松短期大学秘書科卒業生就職先 67社(院)		
実施時期	令和5年7月		
調査方法	郵送による質問紙法		
回収率	依頼数	67社(院)	
	協力数	38社(院)	
回収率		56.7%	

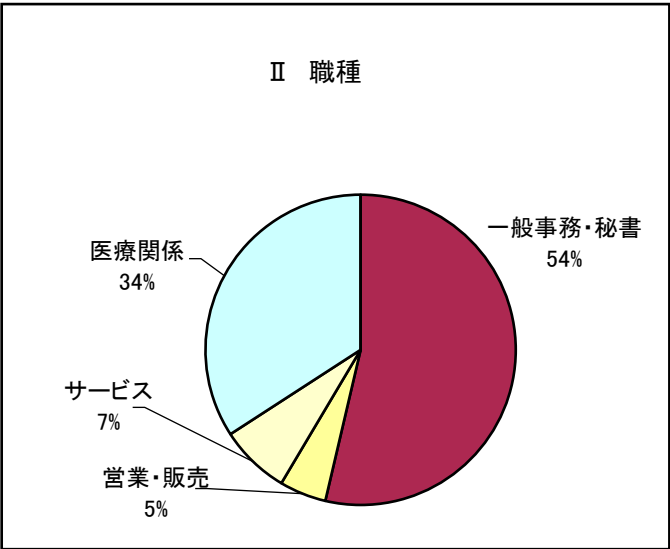
I 貴社・貴院の業種についてお答えください。

	業 種	件数
1	建設	1
2	製造	3
3	電気・ガス・水道	0
4	情報・通信	1
5	運輸	0
6	卸売・小売	9
7	金融・保険	2
8	不動産	0
9	飲食・宿泊	0
10	医療・福祉	14
11	サービス	5
12	官公庁	1
13	その他	2



II 令和4年4月にご採用いただいた秘書科卒業生の職種ごとの人数およびそのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

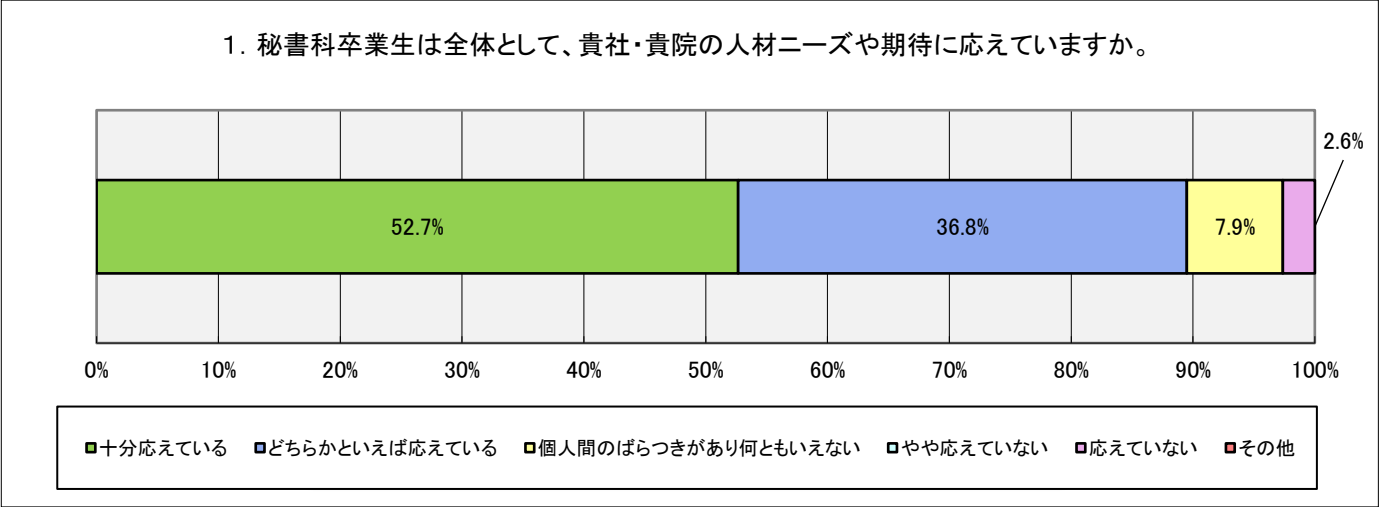
	職 種	件数	人数	内退職者(6ヵ月以内)
1	一般事務・秘書	21	22	1
2	営業・販売	2	2	0
3	サービス	3	3	0
4	医療関係	12	14	1
5	その他	0	0	0



Ⅲ 令和4年4月にご採用いただいた秘書科卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

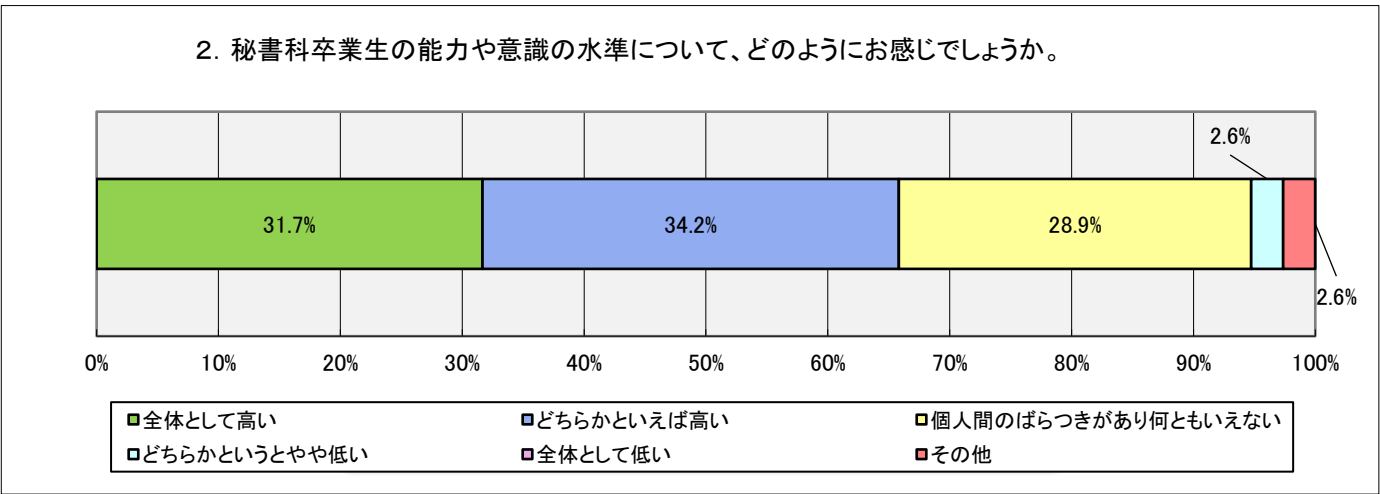
1. 秘書科卒業生は全体として、貴社・貴院の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項 目	件数
1	十分応えている	20
2	どちらかといえば応えている	14
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	3
4	やや応えていない	0
5	応えていない	1
6	その他	0



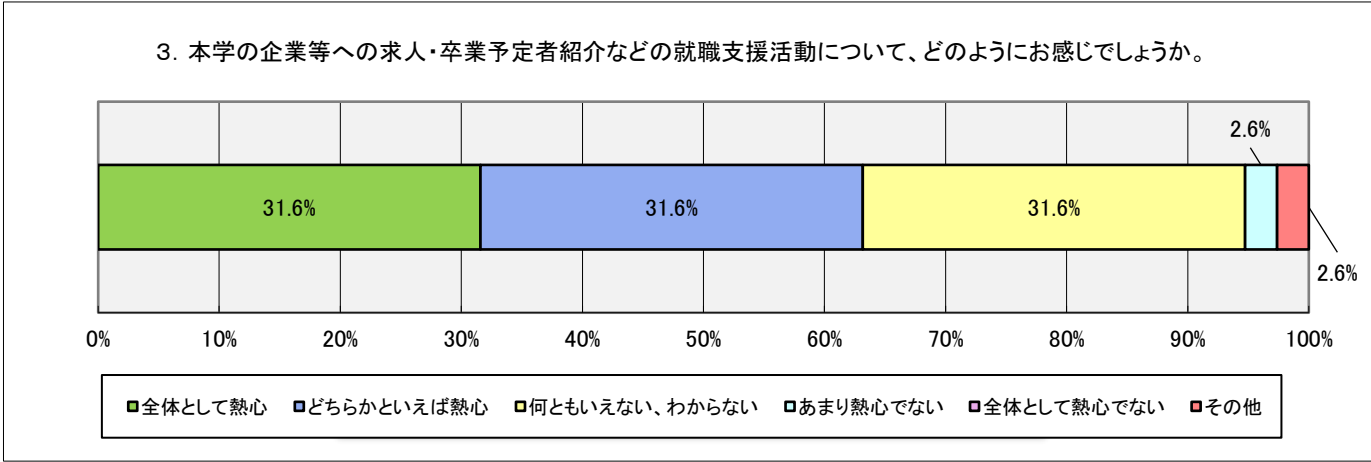
2. 秘書科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として高い	12
2	どちらかといえば高い	13
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	11
4	どちらかというやや低い	1
5	全体として低い	0
6	その他	1



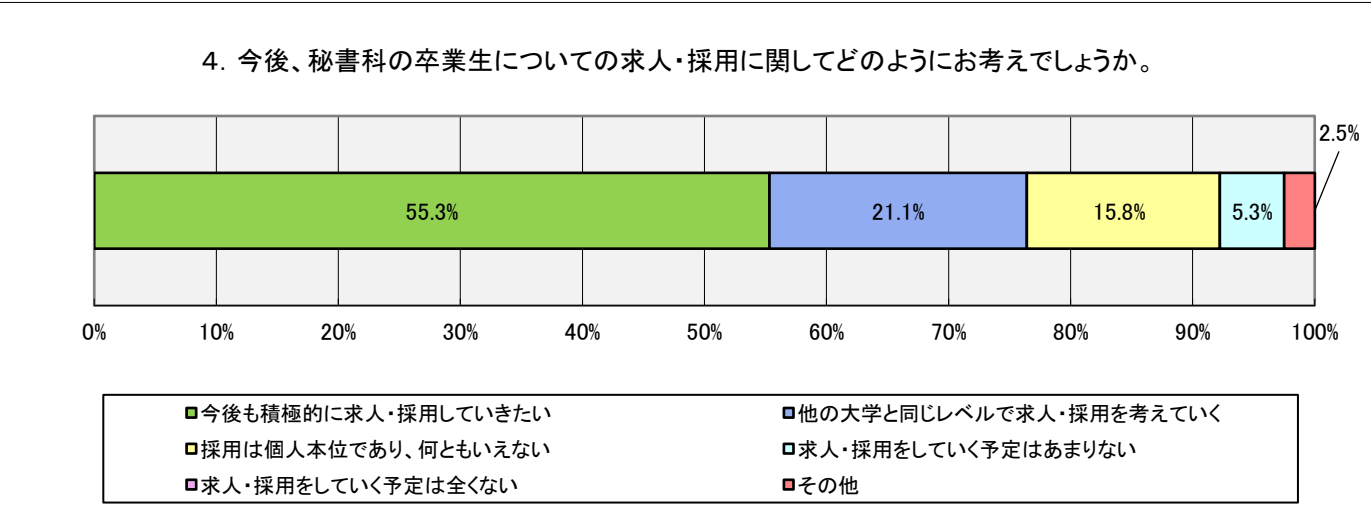
3. 本学の企業等への求人・卒業予定者紹介などの就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として熱心	12
2	どちらかといえば熱心	12
3	何ともいえない、わからない	12
4	あまり熱心でない	1
5	全体として熱心でない	0
6	その他	1



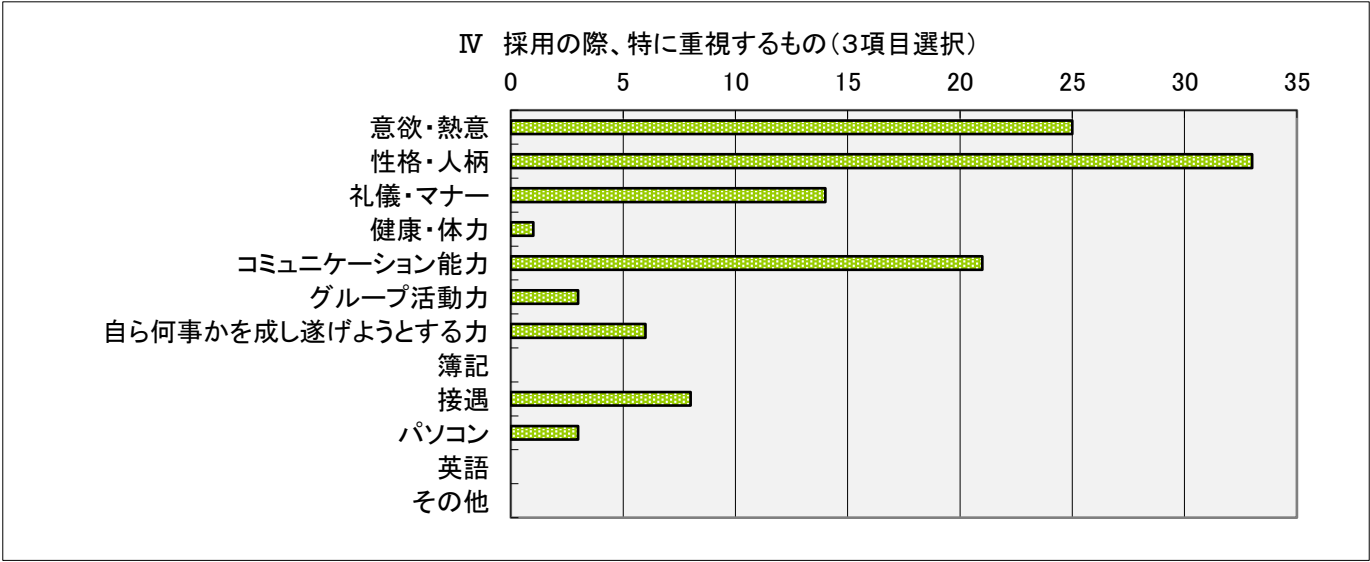
4. 今後、秘書科の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

	項 目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	21
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	8
3	採用は個人本位であり、何ともいえない	6
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	2
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	1



Ⅳ ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

	項 目	件数
1	意欲・熱意	25
2	性格・人柄	33
3	礼儀・マナー	14
4	健康・体力	1
5	コミュニケーション能力	21
6	グループ活動力	3
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	6
8	簿記	0
9	接遇	8
10	パソコン	3
11	英語	0
12	その他	0



返信先：FAX. 087-841-7158 (高松大学キャリア支援課) (送付状は不要です)

締切：令和5年7月31日(月)

高松大学 卒業生に関するアンケート (企業等)

I 貴社の業種についてお答えください。

- 1)建設 2)製造 3)電気・ガス・水道 4)情報・通信 5)運輸 6)卸売・小売 7)金融・保険
8)不動産 9)飲食・宿泊 10)医療・福祉 11)サービス 12)その他 ()

II 令和4年4月にご採用いただいた本学卒業生の職種ごとの人数についてお答えください。

- 1)営業・販売 名 2)総務・事務 名 3)製造・作業スタッフ 名 4)通訳・貿易 名
5)サービス 名 6)公務 名 7)その他 () 名

III 令和4年4月にご採用いただいた本学卒業生の学部等名と人数についてお答えください。

また、そのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

- 1)経営学部 名 (内留学生 名) うち退職 名 (年 月)
2)発達科学部 名 うち退職 名 (年 月)
3)大学院経営学専攻 名 (内留学生 名) うち退職 名 (年 月)

IV 令和4年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想をお伺いします。 該当する番号を1つお選びください。

1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待にえていますか。

- 1)十分応えている 2)どちらかといえば応えている 3)個人間のばらつきがあり何ともいえない
4)やや応えていない 5)応えていない 6)その他 ()

2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

- 1)全体として高い 2)どちらかといえば高い 3)個人間のばらつきがあり何ともいえない
4)どちらかというやや低い 5)全体として低い 6)その他 ()

3. 本学の卒業予定者への就職支援活動や企業様への採用依頼活動について、どのようにお感じでしょうか。

- 1)全体として熱心 2)どちらかといえば熱心 3)何ともいえない、わからない
4)あまり熱心でない 5)全体として熱心でない 6)その他 ()

4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

- 1)今後も積極的に求人・採用していきたい 2)他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく
3)採用は個人本位であり、何ともいえない 4)求人・採用をしていく予定はあまりない
5)求人・採用をしていく予定は全くない 6)その他 ()

V 貴社で、ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

- 1)意欲・熱意 2)性格・人柄 3)礼儀・マナー 4)健康・体力
5)コミュニケーション能力 6)グループ活動力 7)自ら何事かを成し遂げようとする力
8)経営に関する専門知識 9)その他 ()

VI 本学卒業生をご採用いただいたお立場から、本学の教育の方針・内容について、改善すべきこと、良いと思われることなど、お気づきの点がございましたら、具体的にご記入ください。

.....
.....
.....

◆貴社名

回答された方の部署名・役職名

ご芳名

質問は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

返信先：FAX. 087-841-7158 (高松大学キャリア支援課) (送付状は不要です)

締切：令和5年7月31日(月)

高松大学発達科学部 卒業生に関するアンケート (教育・保育等)

I 貴校(園、所)の業種についてお答えください。

- 1) 公立幼稚園 2) 私立幼稚園 3) 公立認定こども園 4) 私立認定こども園 5) 公立保育所(園)
6) 私立保育所(園) 7) 公立小学校 8) 特別支援学校 9) その他()

II 令和4年4月にご採用いただいた発達科学部卒業生の人数(職種ごと)についてお答えください。また、そのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

- 1) 幼稚園教諭 名うち退職 名(年 月) 2) 保育教諭 名うち退職 名(年 月)
3) 保育士 名うち退職 名(年 月) 4) 小学校教諭 名うち退職 名(年 月)
5) 特別支援校教諭 名うち退職 名(年 月) 6) 地域子育て支援センター職員 名うち退職 名(年 月)
7) 学童保育担当 名うち退職 名(年 月) 8) 病児保育担当 名うち退職 名(年 月)
9) その他() 名うち退職 名(年 月)

III 令和4年4月にご採用いただいた発達科学部卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想をお伺いします。該当する番号を1つお選びください。

1. 発達科学部卒業生は全体として、貴校(園、所)の人材ニーズや期待にえていますか。

- 1) 十分応えている 2) どちらかといえば応えている 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) やや応えていない 5) 応えていない 6) その他()

2. 発達科学部卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

- 1) 全体として高い 2) どちらかといえば高い 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) どちらかというやや低い 5) 全体として低い 6) その他()

3. 本学の貴校(園、所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。(公立校の場合回答の必要はありません。Ⅲ4、Ⅳについても同様です)

- 1) 全体として熱心 2) どちらかといえば熱心 3) 何ともいえない、わからない
4) あまり熱心でない 5) 全体として熱心でない 6) その他()

4. 今後、発達科学部の卒業生についての求人・採用に関してどうお考えですか。

- 1) 今後も積極的に求人・採用していきたい 2) 他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく
3) 採用は個人本位であり、何ともいえない 4) 求人・採用をしていく予定はあまりない
5) 求人・採用をしていく予定は全くない 6) その他()

IV 貴校(園、所)で、ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

- 1) 意欲・熱意 2) 性格・人柄 3) 礼儀・マナー 4) 健康・体力
5) コミュニケーション能力 6) グループ活動力 7) 自ら何事かを成し遂げようとする力
8) 教育・保育に必要な技術(ピアノ等)や知識 9) その他()

V 発達科学部の卒業生をご採用いただいた立場から、本学発達科学部の教育について、改善すべき点、良いと思われることなど、どんなことでもお気づきのことがあれば遠慮なくご自由にご記入ください。

.....
.....

VI 最後に、本学発達科学部の卒業生についてお答えください。

貴校(園、所)では、本学卒業生が何名お世話になっていますか。また、そのうち職種、役職者数についてお答えください。

◇卒業生数 名

◇職種 1) 幼稚園教諭 名 2) 保育教諭 名 3) 保育士 名

4) 小学校教諭 名 5) 特別支援学校教諭 名 6) その他() 名

◇役職 1) 園長・所長 名 2) 副園長・副所長 名 3) 主任 名 4) その他() 名

◆貴校(園・所)名

回答された方の部署名・役職名

ご芳名

質問は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

返信先：FAX. 087-841-7158 (高松短期大学キャリア支援課) (送付状は不要です)

締切：令和5年7月31日(月)

高松短期大学保育学科 卒業生に関するアンケート

I 貴園(所)の業種についてお答えください。

- 1) 公立保育所(園) 2) 公立幼稚園 3) 公立認定こども園 4) 私立保育所(園) 5) 私立幼稚園
6) 私立認定こども園 7) その他()

II 令和4年4月にご採用いただいた保育学科卒業生の仕事(職種)ごとの人数についてお答えください。

また、そのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。(複数名いる場合は、空きスペースにお願いします)

- 1) 保育士 名うち退職 名(年 月) 2) 教諭 名うち退職 名(年 月)
3) 保育教諭 名うち退職 名(年 月) 4) 講師 名うち退職 名(年 月)
5) 臨時職員 名うち退職 名(年 月) 6) 預かり保育 名うち退職 名(年 月)
7) 地域子育て支援センター職員 名うち退職 名(年 月)
8) 学童保育担当者 名うち退職 名(年 月) 9) 病児保育担当者 名うち退職 名(年 月)
10) その他() 名うち退職 名(年 月)

III 令和4年4月にご採用いただいた保育学科卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想をお伺いします。該当する番号を1つお選びください。

- 保育学科卒業生は全体として、貴園(所)の人材ニーズや期待に应运えていますか。
1) 十分应运えている 2) どちらかといえば应运えている 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) やや应运えていない 5) 应运えていない 6) その他()
- 保育学科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。
1) 全体として高い 2) どちらかといえば高い 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) どちらかというやや低い 5) 全体として低い 6) その他()
- 本学の貴園(所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。
1) 全体として熱心 2) どちらかといえば熱心 3) 何ともいえない、わからない
4) あまり熱心でない 5) 全体として熱心でない 6) その他()
- 今後、保育学科の卒業生についての求人・採用に関してどうお考えですか。
1) 今後も積極的に求人・採用していきたい 2) 他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく
3) 採用は個人本位であり、何ともいえない 4) 求人・採用をしていく予定はあまりない
5) 求人・採用をしていく予定は全くない 6) その他()

IV 貴園(所)で、ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

- 1) 意欲・熱意 2) 性格・人柄 3) 礼儀・マナー 4) 健康・体力
5) コミュニケーション能力 6) グループ活動力 7) 自ら何事かを成し遂げようとする力
8) 保育技術(ピアノ等)や知識・能力 9) その他()

V 保育学科の卒業生をご採用いただいた立場から、本学保育学科の教育について、改善すべき点、良いと思われることなど、どんなことでもお気づきのことがあれば遠慮なくご自由にご記入ください。

.....
.....
.....

VI 最後に、本学保育学科(幼児教育学科、児童教育学科)の卒業生についてお答えください。

貴園(所)では、現在、職員として本学卒業生が何名お世話になっていますか。また、そのうち勤務年数、職種、役職者数についてお答えください。

- ◇卒業生数 名
勤務年数 1) 1年～3年 名 2) 4年～10年 名 3) 10年以上 名 4) 20年以上 名
◇職種 1) 保育士 名 2) 幼稚園教諭 名 3) 保育教諭 名 4) その他() 名
◇役職 1) 園長・所長 名 2) 副園長・副所長 名 3) 主任 名 4) その他() 名

◆貴園(所)名

回答された方の部署名・役職名

ご芳名

質問は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

返信先：FAX 087-841-7158 (高松短期大学キャリア支援課) (送付状は不要です)

締切：令和5年7月31日(月)

高松短期大学秘書科 卒業生に関するアンケート

I 貴社・貴院の業種についてお答えください。

- 1)建設 2)製造 3)電気・ガス・水道 4)情報・通信 5)運輸 6)卸売・小売 7)金融・保険
8)不動産 9)飲食・宿泊 10)医療・福祉 11)サービス 12)官公庁 13)その他 ()

II 令和4年4月にご採用いただいた秘書科卒業生の職種ごとの人数についてお答えください。

また、そのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

- 1) 一般事務・秘書 名うち退職 名(年 月) 2) 営業・販売 名うち退職 名(年 月)
3) サービス 名うち退職 名(年 月) 4) 医療関係 名うち退職 名(年 月)
5) その他() 名うち退職 名(年 月)

III 令和4年4月にご採用いただいた秘書科卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想をお伺いします。 該当する番号を1つお選びください。

1. 秘書科卒業生は全体として、貴社・貴院の人材ニーズや期待に応えていますか。

- 1) 十分応えている 2) どちらかといえば応えている 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) やや応えていない 5) 応えていない 6) その他 ()

2. 秘書科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

- 1) 全体として高い 2) どちらかといえば高い 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) どちらかというやや低い 5) 全体として低い 6) その他 ()

3. 本学の企業等への求人・卒業予定者紹介などの就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

- 1) 全体として熱心 2) どちらかといえば熱心 3) 何ともいえない、わからない
4) あまり熱心でない 5) 全体として熱心でない 6) その他 ()

4. 今後、秘書科の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

- 1) 今後も積極的に求人・採用していきたい 2) 他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく
3) 採用は個人本位であり、何ともいえない 4) 求人・採用をしていく予定はあまりない
5) 求人・採用をしていく予定は全くない 6) その他 ()

IV ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

- 1) 意欲・熱意 2) 性格・人柄 3) 礼儀・マナー 4) 健康・体力
5) コミュニケーション能力 6) グループ活動力 7) 自ら何事かを成し遂げようとする力
8) 簿記 9) 接遇 10) パソコン 11) 英語
12) その他 ()

V 秘書科の卒業生をご採用いただいたお立場から、本学秘書科の教育について、改善すべきこと、良いと思われることなど、お気づきの点がございましたら、具体的にご記入ください。

.....
.....
.....

◆貴社・貴院名

回答された方の部署名・役職名

ご芳名

質問は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

令和５年度「就職先からの卒業生に対する評価（卒業生
に関するアンケート）」集計結果報告書
（令和３年度卒業生対象）

発行日 令和５年９月３０日
編 集 高松大学・高松短期大学 学生委員会
発 行 高松大学・高松短期大学
〒761-0194
香川県高松市春日町 960 番地
TEL 087-841-3255（代表）
FAX 087-841-3064